

びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れるほっとできる場所です。

びーのびーの 通信

2010年 1月号

NO. 115 ■ NPO 法人びーのびーの事務局 ■

〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3

TEL045-540-7422 FAX045-540-7421

URL <http://www.bi-no.org>

・獅子舞に・・・泣いた子だ〜れ？

☆2010年 新年を迎えて & 林市長 来訪速報☆



あけましておめでとうございます！



昨年は、新型インフルエンザの流行や、政権が変わるなど大きな変化がおこり、新年を迎えた今も、その影響下にあります。特に子育て家庭にとっては、新型インフルエンザはたいへんな脅威となりました。人が集う場所に出ないように、家族に感染者が出ないようにと、多くの親たちは自己規制をしたのではないかと思います。子育て家庭の交流の場である子育てひろばは、人の交流を通じて、出会いや経験を深めていく場ですからたいへん気を遣う事態となりました。しかし、諸外国に倣い、発生当時に比べると社会的規制はゆるやかになり、防ぎようがないのであれば、季節性インフルエンザと同じような対応でいこうと変化しました。犯人探しではなく、かかったらかかったなりに受容し「お大事に」と声掛け合う社会へと変化。新しいウイルスは私たち社会を試しているようでもあります…ひとつ大きな経験を積みました。

一方「子ども手当」などが焦点となった国政選挙。すでに地方は人口減少に直面し、少子高齢化社会の抜本的な解決策はいまだ見えず。「子ども手当」だけの子育て支援は、人と人を支える社会、人が育まれる社会を作れるのか…たいへん疑問です。びーのびーのやどろっぴなど地域の子育て拠点に関わっていると、「人と関わる中でしか解決できないことがある」「子どもを育てること、関わることは、自分の親世代を思い、将来の子どもたちの社会に責任を持つ循環なんだ」と思います。現金給付だけではなく、サービスや支援システム、人材育成などトータルに考えていただきたいです。

大人の責任として、将来を担う子どもたちに、利害を超えて連帯の仕組みを残すことができるかどうか、政権交代の真価が問われる一年になりそうです。

私たち、NPO法人びーのびーのも今年で活動10周年を迎えます。これまでの10年を振り返り、新たな10年に向けてスタートを切ります。皆さんとともに、子どもたちや子育て家庭に必要なことを考えながら、実践しながら歩んでいきたいと思います。いつも傍観者ではなく、参画者であることを大切にしたい！ これからも、よろしくお願いします。

NPO法人びーのびーの 代表 奥山千鶴子

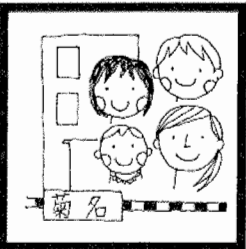
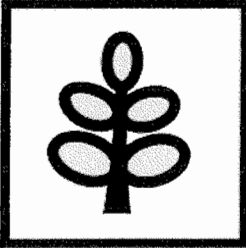
速報！

林市長 どろっぴ訪問！！

12月8日（火）、港北区地域子育て支援拠点どろっぴに林市長がいらしゃいました。林市長は、利用者、スタッフ、ボランティアとの交流を通じて、どろっぴは関わる人々によって醸し出される「素敵なエモーショナルな居場所」と評価してくださいました。



おやこの広場
びーのびーの



ひろばの風景

ある日、親子ボラママが素敵なニットの靴を持ってひろばに来ました。「もしかして編んだの？」と聞くと「そう。幼稚園のママたちに教えてもらったの」と楽しそう♪編み物が苦手な私は思わず「編んで…」とお願いしました。さて2週間後。ニットの靴でひろばに来た私に「編んだの？」と会員さんから声がかかりました。「編んでもらったの」と話すと「編み図あるのかな～?」「じゃあ聞いてみるね!」と話が展開。結局私も私もと5、6人の手が上がり、「ひろばでみんなで編み物しよう」ということになりました!! 言い出しっぺの私はただ今あみあみ練習中。中には「夜中に子どもを寝かしてから、暗闇の中で編む」なんてママもいます。よかったら皆さんもひろばで一緒にあみあみしませんか～。



ひろば利用案内

<入会金>・・・1000円
1ヶ月フリーパス・・・2100円/月
1回利用料・・・300円/回
マタニティ利用料・・・200円/回
ビジター利用料・・・500円/回

※入会金は、1家族初回のみ。
のちにきょうだいが入会の場合は不要。

- ◆0～3歳の子どもが対象です。
- ◆ひろば見学は、初回のみ無料です。
- ◆きょうだいで同時にひろば利用される場合、2人目以降半額。(6ヶ月未満は無料)ただし、下のお子さんは上のお子さんのひろば卒業と同時に正規料金となります。
- ◆ひろば利用料は、びーのびーの運営、維持費として活用させていただいています。

【開館日】

月・火・木・金 9:30～16:00
水曜日 13:00～17:00

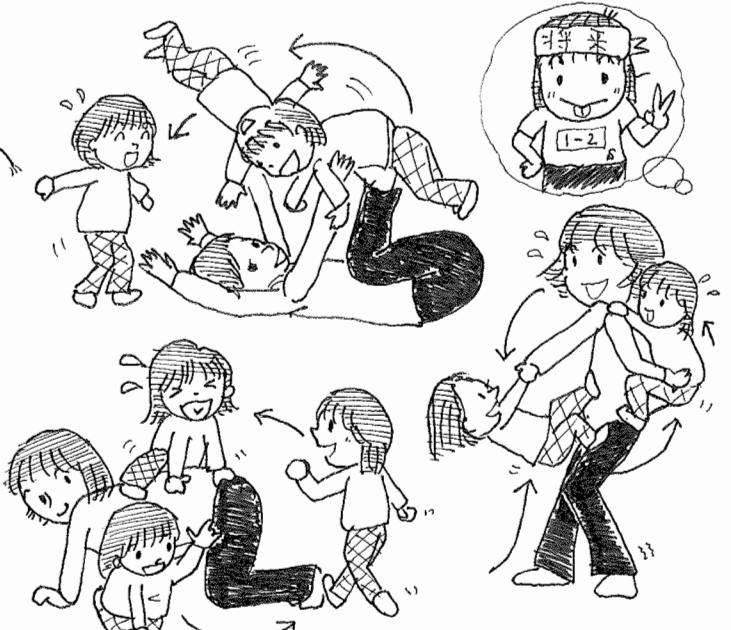
【休館日】

土曜日・日曜日・祝日
年末年始・特別休館日

親子ボランティア体験レポート

親子体操にチャレンジ!!

2才の娘と参加。まずは準備体操。緊張して私に張り付いていた娘はアンパンマン体操が流れるとノリノリで踊り出し楽しみ出しました。親が四つん這いになった背中を上ってお腹のトンネルくぐり、手をつなぎ、私の体に娘を登らせて一回転、広場を全部使って鬼ごっこ、寝転がって上にあげた足の上に子どもを乗せて頭の方に回転して着地etc・・・触れ合いながら親子共にたっぷり体を動かしました!そして最後の曲で軽く踊って終了。その後はママだけで普段つらいところに効くストレッチを教えてもらいました。普段なかなかしない動きでしたが、将来体育で役に立つ動きだとか・・・娘も気に入り家でもやっています。私も久々に運動してリフレッシュ出来ました。またぜひ参加したいです!



子どもが楽しめてママもリフレッシュできる親子体操。次回開催は3月に予定しています。

皆さんも一緒に参加してみませんか?お待ちしております!ま～す!!



(親子ボランティア M)

親子ボラと会員ママのつづやき

私は平日びーのびーのに通っているが、なぜか?理由は3つある。1つ目は親切な人が多いから。断乳やパパの育児参加、子育てについて相談すれば色々教えてくださる。2つ目は息子がのびのび遊べるから。彼は興味のまま人や物に突進し、しばしば迷惑をかけてしまう。そんな彼をびーのびーのは寛容に受け止めてくださる。3つ目は好きなタイミングで遊べるから。ママ友達と遊ぶことはとても楽しいが、時間をうまく使えないのが難点。びーのびーのは、いつ来ていつ帰ってもいいので自由だ。びーのびーのがあって私はたくさん救われている。今年もびーのびーのに多くの幸福が訪れますように。

(会員: 信繁くんのママ)



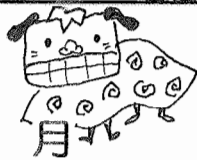
グループ保育の風景



「一緒にいるだけで楽しい！」今のゆーのっ子たちをみていてとてもそれを感じます。道に寝そべって(危なくないところ)顔を地面にくっつけるOちゃん。それをみてSちゃんもまねをします。そして「キャッキャッ。」と笑い合う。また違うところでは三輪車に乗るTくん、それを見て車で追いかけるYくん。何も乗らずに一緒に走るKくん。ともだちと一緒にのこをするのがただひたすら楽しいね。1人がやっていたことが2人、3人と広がって気が付けばゆーのメンバー全員で同じことをする光景も。会話が成立しているようでしていないような、心で感じてそれが行動になる2、3歳児ワールドの織り成す世界。そこに大人が介入しないで成立している時間。そんな光景をそっと後ろから眺めながらニヤニヤしているスタッフNでした。



■1月22日(金) 10:00~11:30 子育て相談日
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配な事を一緒に考えて下さいます。



1月

Calendar

- ☆水曜日の開館時間は13時から17時です。
- ☆木曜日午前中は助産師がいます。1月は21日、28日の午前を予定しています。お気軽にご相談を。都合により不在の場合もあります。ご了承ください。
- ☆一般参加の場合、ひろば利用料として500円別途いただきます。

				1 冬季特別休館
4 冬季特別休館	5 冬季特別休館	6 13時開館	7	8
11 成人の日	12	13 13時開館	14	15
18	19	20 13時開館	21	22 子育て相談日
25	26	27 13時開館	28	29

学生ボランティア活躍中！！

夏休み中はたくさんの学生ボランティアが来てくれていたびーのびーの。夏休みほど大人数ではありませんが、普段のひろばにも授業の合間を縫って様々な学生さんたちがボランティアにきてれています。個人的に来てくれる学生さんもいれば、大学のボランティア部や保育系学部を有する大学から来てくれている場合もあります。いつも思い切り遊んでくれる学生ボランティアさんを子どもたちは心待ちにしています。ひろばで学生さんを見かけたら気軽に声をかけてみてくださいね。さて、神奈川大学のGlobal Yen Leap はびーのびーの創設以来ずっとお付き合いのあるボランティア部。その中の一人である、部の代表の井上君にびーのびーのでの活動への思いを聞いてみました。

「大学入学当初、実は子ども嫌いだっただ自分が、びーのびーのに参加したところ、自分で想像していた以上に子どもたちが素直で、接していると自然に自分が笑顔になっていたことに気づきました。そして毎週行くようになると「お兄ちゃん！」とってなついてくれる子がいたり、ハイハイしていた子どもがいつの間にか歩いたり成長を見ることができ、長期で楽しめるボランティアと感じました。『びーのびーのは人が優しくなれる場所』私はそう考えています。これから子どもの成長を見ていきたいし、その子たちにプラスになる存在でありたいです。」

A Happy new year!!

みんなで話そう！初めての園生活。
～不安なこと・気になること～

日時 2月12日(金) 10:30~12:00
場所 びーのびーの菊名ひろば
会員限定 要予約 10組

初めての幼稚園・保育園。うちの子はうまく集団生活になじめるかしら？不安なことや気になることなどアドバイザーの伊志嶺先生をファシリテーターに迎え、みんなで話したいと思います。

びーのびーの活動って？

NPO法人びーのびーのは、地域で共に育ち合う子育て環境を目指して、港北区内に拠点を置き事業を展開しています。また、各拠点にどう人とのつながりを大切にしつつ、さまざまな連携を図りながら地域への発信をしています。

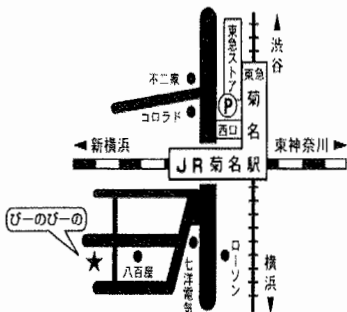
拠点

親と子のつどいの広場事業 おやこの広場 びーのびーの

◆横浜市社会福祉協議会「親と子のつどいの広場事業」

2000年4月開設。商店街の空き店舗を借り上げて、子育て当事者で立ち上げた子育てひろば。利用者である会員やスタッフ、ボランティア、地域の人たちと共に、子どもの遊びや育ちを見守り、出会えるひろば。子どもも大人も居心地の良い居場所づくりを目指して取り組む。

<http://www.bi-no.org/>



東急東横線・JR横浜線菊名駅西口より徒歩2分

〒222-0021
横浜市港北区篠原北1-2-18
TEL 045-439-7447
FAX 045-439-7448

◆開館時間◆
月・火・木・金 9:30～16:00
水曜日 13:00～17:00
◆休館日◆
土曜日・日曜日・祝日・
年末年始・特別休館日

港北区地域子育て支援拠点 どろっぴ

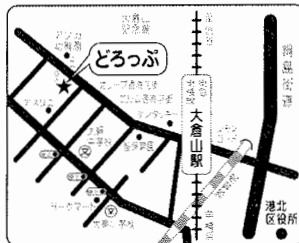
◆港北区地域子育て支援拠点委託事業

「学生によるわくわく子育てサポーター」

「港北区子育て応援メールマガジン ココめ～る」

2006年3月開設。0歳～6歳までが登録。横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として開設。5つの要綱(親子の居場所事業/相談事業/子育て情報の収集発信事業/ネットワーク事業/人材育成事業)を総合的に取り組むための拠点として運営。

<http://www.kohoku-drop.com/>



東急東横線大倉山駅徒歩10分
または市バス41系統川向町行き「観音前」下車

〒222-0037
横浜市港北区大倉山3-57-3
TEL 045-540-7420
FAX 045-540-7421

◆開館時間◆
火～土曜日 9:30～16:00
◆休館日◆
日曜日・月曜日・祝日・
年末年始・特別休館日
◆登録料・利用料◆ 無料

事業

◆預かり保育事業「ゆーのびーの」

今年度は2～3歳児のグループでの預かりを、おやこの広場びーのびーので水曜日の午前実施。在宅家庭支援に必要とされる幼児期の預かりへのニーズに対応する。預かりを通じて親との信頼関係を築き、地域からの理解を得ながら活動。

◆子育て関連情報の編集・制作・販売

- ・広報紙の発行(毎月)
法人全体の事業や地域の子育て関連情報を紹介。
- ・幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)
港北区および周辺地域の園情報を掲載

◆菊名WARA・びー実行委員会

小学生を中心に親子でまちの歴史を学び、交流を深めることを目指した地域交流事業。

◆ウェブサイトの編集・制作・運営

・港北区子育て応援マップ【ココマップ】

〈港北区社会福祉協議会受託事業〉

2004年9月、子育て情報サイトを開設。子育て当事者らによる編集委員会を毎月開催。特集ページの作成、子育て関連イベント情報の提供など充実したサイトを運営。

<http://www.kouhokushakyo.or.jp/>

◆わくわく子育てサポーター事業

学生ボランティアが子育て家庭を訪問し、乳幼児家庭のお手伝いに参加する活動を中心に、活動前の研修や地域学校や保護者との連携の体制づくり、学生ボランティアの活動支援作りのための場づくりを支援。

法人事務局

●NPO法人

びーのびーの事務局

正会員・準会員の管理をはじめ、対外的な窓口として機能を果たす。

関連法人事務局

●NPO 法人子育てひろば

全国連絡協議会事務局

全国の子育てひろばの会員組織を研修事業・調査研究事業などでサポート。

編集後記

林市長は想像よりずっと身近に感じられる温かさのある、でも力強い素敵な方でした。市長からのメッセージは勿論、そこに集う皆さんの温かく力強いメッセージに沢山の元気をいただき、あまりの感動に涙してしまい、進行役としては失態ではありましたが、これを糧に今年も頑張れそうです。今年も子育てでお腹いっぱい楽しい年になりますように。(Y)

びーのびーの通信 No.115

発行元 NPO法人びーのびーの 発行人 奥山千鶴子
 <編集> 可見あずさ 工藤百代 白瀧宗子 今井幸子
 高橋直子 原美紀 牧谷泰子 山田弘美 戸松綾子
 <イラスト> 山田弘美 横山朋子 牧谷泰子

～今月の1ポイント～
 ☆風邪対策の基本は手洗い・うがいです。



よねもと耳鼻咽喉科

・・・ベビーカーでの来院可・・・

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～1:00	○	○	休	○	○	○	休
PM 3:00～7:00	○	○	休	○	○	休	休

休診日 水曜日・日曜日・祝日・土曜日の午後

TEL 045-434-3347

〒222-0013 横浜市港北区錦が丘16-16 YKビル3F

伝言板

家計の見直しにより、将来の備えを完全に
港北区の皆さまへ

☆保険無料相談実施中☆

ライフサロン 新横浜菊名店

☎045-439-5525

住: 港北区大豆戸町480-1 菊名ハイツ1-110
 営: 10時～19時 毎週水曜日定休

(募集代理店) アポロリスクマネジメント(株)

(住): 港北区新横浜2-3-12

(☎): 045-471-0200

ライフサロン新横浜菊名店は募集代理店の
アポロリスクマネジメント(株)が運営しています
募資 09-KF08-S0871